

講義名	基礎技能B（文章理解）			授業形態	
担当教員	富岡 敦基	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

【目的】
基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員試験対策プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。
1年生対象の「基礎技能B（文章理解）」では、公務員採用試験に必要な「基礎能力」に関し、幅広く「読解」と「演習」を繰り返し、教養科目の核となる「文章理解」を解く能力の底上げを図る。授業内では初回と比較して最終回での理解率ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。公務員採用試験合格には、当該講義を履修するだけではなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。なお、本授業を履修するには事前ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が求められる（「履修にあたっての注意・助言他」を参照）。

【内容】
「文章理解」を学び、社会人として必要な基礎的な文章読解・文章構成力を身につけてもらう。
また、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法についても学ぶ。
試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。

【意義】
講師との対話を通じて進められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」を著実に身につけることができることにある。また、公務員という明確な目標に向けて、コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアカのびのび」へこたれず、の精神を養うことができることにも大きな意義がある。

到達目標

- ・公務員採用試験の一般知識分野を学ぶ上で重要となる「基礎的概念」の理解に必修となる「総合力」を養うことができるようになる。
- ・公務員試験・教養科目の核となる『読解』、『判断推理』の基礎を固めることができる。
- ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。

なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する

提出課題

- ・毎授業時に練習問題を出す。
- ・公務員試験勉強には日ごろの自習が求められる。宿題を通じて、自分のペースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

練習問題は授業中に講評・解説を行う。
第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をお知らせする。

評価の基準

小テスト（5回×5問＝25問）〔50%〕と受講態度（課題の提出〔15回〕等）〔50%〕の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本授業を履修するには、ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が必要です。

【ガイダンス】
1年前期（5～6月）に目的、内容を紹介する説明会を実施するので、履修希望者は必ず参加して下さい。

【エントリーシートの事前提出】
公務員対策は4年間にわたる長丁場の取り組みとなり、強い意志が必要となります。そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。エントリーシートの詳細はガイダンスで説明します。なお、本授業は50人を定員としています。

【履修に際して】
必ず4限の数的処理 と5限の文章理解 をセットで履修をしてください。

【授業に際しての注意】
試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
受講態度が悪い場合には、減点する。
また、最初の授業時に学習する科目のテストを行い、その時点でどれくらい問題が解けるかや苦手範囲を確認し、15回の授業を通して解けるようになる。

教科書

・公務員試験「高卒程度・社会人」初級スーパー過去問ゼミ 文章理解・資料解釈	資格試験研究会 編	実務教育出版	1650	9784788972797
改訂版）（初級スーパー過去問ゼミ（教養試験対策））				

参考図書

なし。				

その他

必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画

1. 公務員ガイダンス・現代文：要旨把握
 - ・ 予習内容（120分）
 - 現代文の「要旨把握」の基本的な手法を学ぶ。
 - 要旨を理解するために、段落ごとの要旨を導き出す方法を練習。
 - 実際の問題を使って、要旨把握の練習を行う（要約を作成し、文章の主旨を把握）。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 要旨を正確に理解するために、文章の構造やテーマに注目する。
 - 要旨に基づいた問題を解き、答え合わせを行う。
2. 現代文：要旨把握
 - ・ 予習内容（120分）
 - より難易度が高い文章を使って、要旨把握を実践的に練習。
 - 文章の構造や論点を明確にし、要旨を取り込む訓練。
 - 問題集や過去問を使用し、要旨把握の力を強化。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 難易度が高い文章の要旨を正確に把握する練習。
 - 要旨を取りながら、文章内の論理的なつながりを確認する。
 - 他の文章で実践し、答え合わせをして復習。
3. 現代文：内容把握
 - ・ 予習内容（120分）
 - 「内容把握」の基本を学ぶ。文章の各段落の内容を正確に理解し、設問に答える方法。
 - 内容把握を行う際のポイントを押さえ、練習問題を解く。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 様々な文章を読んで内容を把握し、設問に答える練習。
 - 答えが正しいかどうかを確認し、間違えた部分を振り返って理解する。
 - 文章の理解を深めるために、他の例文を用いて復習。
4. 現代文：内容把握
 - ・ 予習内容（120分）
 - より難易度が高い文章を読み、内容把握を強化。
 - 内容把握の際のポイント（具体例・抽象的な内容の理解）を意識して練習。
 - 文章の全体像を把握し、必要な情報を整理する練習。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 高度な内容把握問題に挑戦し、答えを選択する際の理由をしっかりと確認。
 - 他の文章を使い、内容把握の精度を高める。
 - 正解に至るまでの思考過程を整理して復習。
5. 現代文：空欄補充
 - ・ 予習内容（120分）
 - 空欄補充問題の解き方を学ぶ。文脈から適切な語句を選ぶ方法を理解。
 - 文章の流れを意識し、空欄に入る語句を推測する練習。
 - 初歩的な空欄補充問題を解き、語句の選び方を見える。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 空欄補充問題を繰り返し解き、文脈の読み取りを強化。
 - 正解の語句を選ぶ際の判断基準を整理し、復習。
 - 解きかけた問題を再度解き、間違えた部分を確認する。
6. 現代文：空欄補充
 - ・ 予習内容（120分）
 - より難易度が高い空欄補充問題に挑戦。
 - 文章内での語句の使い方や文脈を深く理解する方法を学ぶ。
 - 言葉の意味や文脈を整理して、空欄に適切な語句を選ぶ練習。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 難しい空欄補充問題を解き、正解に至る理由を考える。
 - 言葉の意味や使い方を復習し、空欄補充に役立てる。
 - 他の問題を解いて、さらに理解を深める。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。
 ・「文章理解」の中核も特に現代文・英文・古文の基礎を固めることができるようになる。
 ・「知識を正確に転換することができる。論理的思考力を持った人材」の育成。
 ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
 ・自主・自立の精神を持った人材」の育成

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

理解度確認表・キャンパスクロスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用

備考
